

## Rainbow Project 日本語版 会話：飛行機編はしがき

飛行機編を撮影するために、撮影当時は国内に 1 か所しかなかった飛行機のスタジオを借りて撮影しました。若い世代の方には分からないと思いますが、私にとってはボーイングの古い機内が懐かしく感じました。

飛行機編は、監修者が執筆した『旅のお供に今すぐ使えるトルコ語入門』（勉誠出版、2006）をもとにアレンジしています。（→の先が本教材でのタイトルです）

第 1 課 コーヒーをください。 → **1. コーヒーを下さい**

※はじめて外国語を使う場面では、相手との会話が成立しなくても、頼んだものがきちんと出てくれば言っていることが通じたことが確認できるという設定。

第 2 課 トイレはどこですか？ → **2. トイレはどこですか？**

※外国でトイレがどこにあるのかについては切実な問題の 1 つなので、この表現を機内で試してみて、トイレにたどりつけば通じたことが確認できるという設定。

第 3 課 今、何時ですか？ → **3. 何時に到着しますか？**

※外国語の数字を覚えるために作った設定。

飛行機編では、上述をふまえて同じ場面での台詞を共通語と大阪方言の 2 パターンを制作しました。これは街の中では、共通語だけでなく、東京方言や大阪方言がとびかっているという現実をふまえています。よって、本教材では共通語同士の会話は主たる位置づけではなく、さまざまな言葉が入り混じった会話の聴解という観点から制作しております。

共通語と同じ語形でアクセントやイントネーションだけ異なる大阪方言も大阪方言の 1 つですが、1. においてはくだけた言い方とぞんざいな言い方を加えました。どんな方言でも待遇表現はあるもので、場面や性格によって異なる言い方を知っていただければという意図があります。2. と 3. ではくだけた言い方のみになっていますが、これは撮影時間の都合によるものです。なお、機内でぞんざいな大阪方言を使う乗客は、少なくともサラリーマン層ではほとんどいないでしょう。

カット割りについては、全体が見えるように横から撮った映像と、その乗客の後ろに座っている乗客に会話が聞こえてきたという方向（1. と 2. は真後ろ、3. は斜め後ろ）から撮った映像をアップしています。現場では撮影できるところと時間が限られているので試行錯誤していますが、まだまだ至らぬ点については課外活動の一環ということでご海容ください。

大東文化大学外国語学部日本語学科  
福盛貴弘